

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 リョーサン

コード番号 8140 URL <http://www.ryosan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三松 直人

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経本部長

(氏名) 関 晴光

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 03-3862-2591

平成21年12月1日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	87,587	△33.3	1,541	△67.5	1,873	△65.7	924	△72.2
21年3月期第2四半期	131,225	—	4,743	—	5,461	—	3,328	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	26.82	—
21年3月期第2四半期	94.33	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	154,099	115,643	75.0	3,352.10
21年3月期	148,987	116,499	78.1	3,376.78

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 115,533百万円 21年3月期 116,386百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
22年3月期	—	20.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	40.00	60.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,000	△16.2	4,000	△34.9	4,500	△38.0	2,400	△38.8	69.63

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	34,500,000株	21年3月期	34,500,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	33,881株	21年3月期	33,358株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	34,466,377株	21年3月期第2四半期	35,288,918株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお業績予想に関する事項は、5ページ「【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

## (1) 全体の概況

当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)の世界経済は、各国の景気刺激策により、昨秋からの急激な景気後退が底を打ったものの、全般的には大変厳しい情勢が続きました。また、我々が従事しておりますエレクトロニクス業界におきましても、在庫調整の進展から一部の分野で生産が回復の兆しを見せておりますが、景気後退前の水準と比較すると大きく低迷いたしました。

このような情勢下で、当社グループは事業規模の縮小傾向に対しまして、「事業コストの低減」「事業モデルの刷新」に取り組んでまいりました。しかしながら、当第2四半期連結累計期間の業績は、半導体や電子部品の需要が大幅に低下したことから、売上高は875億87百万円(前年同期比33.3%減)、営業利益は15億41百万円(前年同期比67.5%減)、経常利益は18億73百万円(前年同期比65.7%減)、四半期純利益は9億24百万円(前年同期比72.2%減)と大幅な減収減益の結果となりました。

## (2) 事業の種類別セグメントの業績概況

## イ. 半導体事業

当社グループでは、メモリ、システムLSI、個別半導体の販売並びにシステムLSIの開発を行っております。当第2四半期連結累計期間は、デジタルAV機器用及びカーオーディオ用システムLSI等の売上が減少し、売上高は445億65百万円(前年同期比37.7%減)、営業利益は11億52百万円(前年同期比67.5%減)となりました。

## ロ. 電子部品事業

当社グループでは、表示デバイス、電源、機構部品を販売しております。当第2四半期連結累計期間は、DSC用及びPND用液晶ディスプレイ等の売上が減少し、売上高は293億94百万円(前年同期比32.5%減)、営業利益は9億85百万円(前年同期比48.0%減)となりました。

## ハ. 電子機器事業

当社グループでは、システム機器、設備機器を販売しております。当第2四半期連結累計期間は、液晶パネル製造装置等の売上が減少し、売上高は115億39百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益は2億65百万円(前年同期比12.4%減)となりました。

## ニ. 生産事業

当社グループでは、ヒートシンク（半導体素子用放熱器）を生産し、販売しております。当第2四半期連結累計期間は、F A機器用ヒートシンク等の売上が減少し、売上高は20億88百万円（前年同期比47.2%減）、営業利益は1億63百万円（前年同期比62.0%減）となりました。

### (3) 所在地別セグメントの業績概況

#### イ. 日本

当第2四半期連結累計期間は、PND用液晶ディスプレイ及び大型ディスクアレイ装置用システムLSI等の売上が減少し、売上高は678億78百万円（前年同期比29.7%減）、営業利益は9億57百万円（前年同期比70.8%減）となりました。

#### ロ. アジア

当第2四半期連結累計期間は、デジタルAV機器用及びカーオーディオ用システムLSI等の売上が減少し、売上高は236億57百万円（前年同期比42.8%減）、営業利益は3億92百万円（前年同期比66.7%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて51億12百万円増加し、1,540億99百万円となりました。

また、純資産は、前連結会計年度末に比べ8億56百万円減少して1,156億43百万円となり、自己資本比率は75.0%となりました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて31億60百万円増加し、531億63百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が18億18百万円であったことに加え、仕入債務が72億65百万円増加したこと等により、売上債権が25億26百万円増加したものの、全体で67億13百万円の資金が増加し、前年同期に比べ29億45百万円増加しました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出5億50百万円等により5億3百万円の資金が減少し、前年同期に比べ28億98百万円増加しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金返済による支出12億40百万円及び配当金の支払い13億78百万円等があった為、27億2百万円の資金が減少し、前年同期に比べ13億14百万円増加しました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後を展望いたしますと、世界経済は自立的な景気回復までには時間を要すると想定されており、先行き不透明感を拭いきれておりません。そのような状況の中で、当社の経営環境は引き続き大変厳しい状況が続くものと想定しております。なお、平成21年5月12日に公表しました平成22年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績結果に加え、下期に半導体、電子部品等の需要が期初よりも上回ることが想定されることから、次の通り修正いたします。

#### 【連結業績予想】

	予想売上高	予想営業利益	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	170,000	3,400	3,800	2,200	63 83
今回修正予想(B)	185,000	4,000	4,500	2,400	69 63
増減額(B-A)	15,000	600	700	200	——
増減率(%)	8.8	17.6	18.4	9.1	——
前期(平成21年3月期)	220,871	6,145	7,263	3,919	111 83

(事業の種類別セグメントの業績見通し)

#### イ. 半導体事業

半導体事業では、デジタルAV機器用及びカーオーディオ用システムLSI等の売上が減少すると見込まれることから、売上高は940億円(前期比19.6%減)、営業利益は30億円(前期比38.6%減)を予想しております。

#### ロ. 電子部品事業

電子部品事業では、ゲーム機用部品及びデジタルAV機器用液晶ディスプレイ等の売上が減少すると見込まれることから、売上高は596億円(前期比21.5%減)、営業利益は21億50百万円(前期比23.8%減)を予想しております。

#### ハ. 電子機器事業

電子機器事業では、車載電装用及びMF P用システム機器等の売上の増加が見込まれ、売上高は270億円(前期比26.6%増)、営業利益は5億50百万円(前期比24.2%増)を予想しております。

## 二. 生産事業

生産事業では、F A用ヒートシンク等の売上が減少すると見込まれることから、売上高は44億円(前期比34.5%減)、営業利益は3億50百万円(前期比31.9%減)を予想しております。

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	48,165	50,003
受取手形及び売掛金	58,179	56,124
有価証券	4,999	—
商品及び製品	13,052	14,688
仕掛品	60	59
原材料及び貯蔵品	172	191
未収入金	3,900	1,737
未収還付法人税等	43	239
繰延税金資産	400	380
その他	388	630
貸倒引当金	△119	△104
流動資産合計	129,243	123,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,011	5,131
土地	8,136	8,184
リース資産(純額)	393	463
その他(純額)	1,072	774
有形固定資産合計	14,614	14,554
無形固定資産	552	628
投資その他の資産		
投資有価証券	3,389	2,890
長期預金	3,500	3,500
繰延税金資産	1,658	2,153
その他	2,297	2,529
貸倒引当金	△1,057	△1,101
投資損失引当金	△98	△118
投資その他の資産合計	9,689	9,853
固定資産合計	24,856	25,036
資産合計	154,099	148,987

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,793	21,888
短期借入金	3,241	4,773
リース債務	148	157
未払費用	830	1,024
賞与引当金	8	—
未払法人税等	670	109
その他	2,032	1,738
流動負債合計	35,726	29,691
固定負債		
リース債務	322	394
退職給付引当金	2,123	2,086
その他	283	315
固定負債合計	2,730	2,796
負債合計	38,456	32,488
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	17,690	17,690
資本剰余金	19,114	19,114
利益剰余金	80,921	81,443
自己株式	△83	△82
株主資本合計	117,642	118,165
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	353	14
繰延ヘッジ損益	△5	3
為替換算調整勘定	△2,456	△1,797
評価・換算差額等合計	△2,108	△1,779
少数株主持分	109	113
純資産合計	115,643	116,499
負債純資産合計	154,099	148,987

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	131,225	87,587
売上原価	119,316	80,115
売上総利益	11,908	7,472
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	366	270
貸倒引当金繰入額	—	35
役員報酬	254	208
給料及び手当	1,842	1,601
賞与	686	436
退職給付費用	231	223
福利厚生費	400	328
減価償却費	290	391
その他	3,093	2,433
販売費及び一般管理費合計	7,165	5,931
営業利益	4,743	1,541
営業外収益		
受取利息	96	48
受取配当金	319	103
為替差益	78	1
経営指導料	76	53
雑収入	243	156
営業外収益合計	813	364
営業外費用		
支払利息	73	23
雑損失	21	9
営業外費用合計	94	33
経常利益	5,461	1,873
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	—	12
貸倒引当金戻入額	84	—
投資損失引当金戻入額	13	10
特別利益合計	98	24
特別損失		
固定資産除売却損	30	2
減損損失	—	50
たな卸資産評価損	112	—
投資有価証券売却損	—	14
投資有価証券評価損	131	6
ゴルフ会員権評価損	3	4
特別損失合計	277	78
税金等調整前四半期純利益	5,282	1,818
法人税、住民税及び事業税	2,034	666
法人税等調整額	△85	225
法人税等合計	1,949	892
少数株主利益	4	2
四半期純利益	3,328	924

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,282	1,818
減価償却費	382	462
減損損失	—	50
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△84	△18
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	101	33
受取利息及び受取配当金	△415	△152
支払利息	73	23
投資有価証券評価損益 (△は益)	131	6
有形固定資産除売却損益 (△は益)	30	1
売上債権の増減額 (△は増加)	3,961	△2,526
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△553	1,515
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,610	7,265
その他	△811	△1,972
小計	5,487	6,506
利息及び配当金の受取額	413	154
利息の支払額	△72	△23
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,060	76
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,767	6,713
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,000	△1
有形固定資産の取得による支出	△127	△550
有形固定資産の売却による収入	9	3
無形固定資産の取得による支出	△2	—
無形固定資産の売却による収入	—	9
投資有価証券の取得による支出	—	△23
投資有価証券の売却による収入	—	58
関係会社株式の取得による支出	△6	—
貸付けによる支出	△273	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,401	△503
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,290	△1,240
リース債務の返済による支出	—	△81
自己株式の取得による支出	△1,260	△1
配当金の支払額	△1,418	△1,378
少数株主への配当金の支払額	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,388	△2,702
現金及び現金同等物に係る換算差額	△100	△395
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,122	3,112
現金及び現金同等物の期首残高	43,077	50,003
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	48
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,955	53,163

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体 事業	電子部品 事業	電子機器 事業	生産事業	計	消去又 は全社	連 結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	71,549	43,545	12,177	3,952	131,225	—	131,225
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	71,549	43,545	12,177	3,952	131,225	—	131,225
営業費用	68,005	41,652	11,875	3,523	125,056	1,426	126,482
営業利益	3,544	1,893	302	429	6,169	(1,426)	4,743

- (注) 1. 事業区分の方法及び各区分に属する主要な商品・製品の名称
- (1) 事業区分の方法は、事業体制(組織)を基本とし、取扱商品、製品区分並びに販売形態等を勘案し、区分しております。
  - (2) 各事業区分の主要な商品・製品の名称  
 半導体事業 …… メモリ・システムLSI・個別半導体  
 電子部品事業 …… 表示デバイス・電源・機構部品  
 電子機器事業 …… システム機器・設備機器  
 生産事業 …… ヒートシンク(半導体素子用放熱器)
2. 営業費用のうち、「消去又は全社」の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、1,426百万円であり、その主なものは、当社の企画・管理及び経理本部に係る費用であります。
3. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を第1四半期連結累計期間から適用し、評価基準については、低価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。
- その結果、従来の方法によった場合と比較して営業利益が「半導体事業」で29百万円、「電子部品事業」で4百万円及び「生産事業」で4百万円それぞれ減少しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

（単位：百万円）

	半導体事業	電子部品事業	電子機器事業	生産事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	44,565	29,394	11,539	2,088	87,587	—	87,587
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	44,565	29,394	11,539	2,088	87,587	—	87,587
営業費用	43,412	28,409	11,273	1,925	85,021	1,024	86,046
営業利益	1,152	985	265	163	2,566	(1,024)	1,541

- (注) 1. 事業区分の方法及び各区分に属する主要な商品・製品の名称
- (1) 事業区分の方法は、事業体制（組織）を基本とし、取扱商品、製品区分並びに販売形態等を勘案し、区分しております。
- (2) 各事業区分の主要な商品・製品の名称
- 半導体事業 …… メモリ・システムLSI・個別半導体
- 電子部品事業 …… 表示デバイス・電源・機構部品
- 電子機器事業 …… システム機器・設備機器
- 生産事業 …… ヒートシンク（半導体素子用放熱器）
2. 営業費用のうち、「消去又は全社」の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、1,024百万円であり、その主なものは、当社の企画・管理及び財務本部に係る費用であります。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

（単位：百万円）

	日 本	ア ジ ア	計	消去又 は全社	連 結
売上高及び営業損益					
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	90,051	41,174	131,225	—	131,225
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,487	164	6,651	(6,651)	—
計	96,538	41,338	137,877	(6,651)	131,225
営 業 費 用	93,262	40,160	133,422	(6,939)	126,482
営 業 利 益	3,276	1,178	4,455	287	4,743

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。  
 2. 各区分に属する主な国又は地域  
 アジア …… 香港・シンガポール・台湾・マレーシア等  
 3. 営業費用は、各セグメントへ配賦しております。  
 4. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を第1四半期連結累計期間から適用し、評価基準については、低価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。  
 その結果、従来の方法によった場合と比較して営業利益が「日本」で36百万円、「アジア」で2百万円それぞれ減少しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

（単位：百万円）

	日 本	ア ジ ア	計	消去又 は全社	連 結
売上高及び営業損益					
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	64,254	23,333	87,587	—	87,587
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,624	324	3,948	(3,948)	—
計	67,878	23,657	91,536	(3,948)	87,587
営 業 費 用	66,921	23,265	90,187	(4,141)	86,046
営 業 利 益	957	392	1,349	192	1,541

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。  
 2. 各区分に属する主な国又は地域  
 アジア …… 香港・シンガポール・台湾・中国・マレーシア等  
 3. 営業費用は、各セグメントへ配賦しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

（単位：百万円）

	アジア	計
海外売上高	52,321	52,321
連結売上高	—	131,225
連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	39.9	39.9

- （注）1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。  
 2. 各区分に属する主な国又は地域  
 アジア …… 香港・韓国・中国・台湾等  
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高（ただし、連結会社間の内部売上高を除く）であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

（単位：百万円）

	アジア	計
海外売上高	29,997	29,997
連結売上高	—	87,587
連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	34.3	34.3

- （注）1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。  
 2. 各区分に属する主な国又は地域  
 アジア …… 香港・韓国・中国・台湾等  
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高（ただし、連結会社間の内部売上高を除く）であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。